

2025年度式海外派遣プログラム【JU-MAB周知用】 募集要項

プログラム名	ユネスコ文化交流プログラム		
形態	現地研修		
対象	各大学・大学院所属の正規学生		
募集人数	各プログラム若干名（上限以上の応募があった場合は選考を実施します）		
実施期間	ドイツ・プログラム	2026年3月18日（水）～3月25日（水）	
	フランス・プログラム	2026年2月16日（月）～2月24日（火）	
	フィンランド・プログラム	2026年3月 9日（月）～3月19日（木）	
	アメリカ・プログラム	2026年3月 3日（火）～3月12日（木）	
研修内容（予定）	ドイツ・プログラム	Eberswalde 大学訪問・コリーンエコパーク・地元コミュニティ・学生と交流・環境保全・持続可能な開発学習	
	フランス・プログラム	Toulous Paul Sabatie大学訪問・地元コミュニティ・学生と交流・地域課題を学ぶ・フランスの歴史・社会・文化学習	
	フィンランド・プログラム	Oulu大学訪問・Rokuaジオパーク内滞在・地元コミュニティ・学生と交流・気候変動に対する課題学習	
	アメリカ・プログラム	コロラド大学コロラドスプリングス校（UCCS）訪問・ロッキー山脈等ハイキング・地元コミュニティ・学生と交流・文化体験	
使用言語	英語		
滞在形態	ホテル（Airbnb）他 2名1室または1名1室の予定		
研修費用	ドイツ	参加費 約15万円	
	フランス	参加費 約15万円	
	フィンランド	参加費 約19万円	
	アメリカ	参加費 約800 \$	
	【費用に含まれるもの】		
	・現地費用（授業料等のプログラム費、一部の宿泊費）		
	【費用に含まれないもの】		
	・渡航費（日本-現地、日本国内移動費）・食費・海外旅行保険料、危機管理サービス加入料・その他雑費		
費用納入期日（予定）	プログラムごとに異なる（参加確定後にお知らせします）		
参加要件	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC 500点以上を取得（もしくは同等程度の英語力を保持）していることが望ましい。 有効（残存期間が滞在期間+6か月以上）なパスポートを所持していること。 		
申込方法・期間	<p>応募者の在籍大学担当者がとりまとめ、金沢大学周知担当者に以下の情報をメール送付</p> <p>応募者の大学名・所属学部・学年・氏名・メールアドレス・性別</p> <p>★ 申込期限：2025年12月19日（金）応募者多数の場合、選考あり</p>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> 応募者の在籍大学が定める海外渡航前の手続規定を遵守してください。 留学に伴う渡航期間中の災害、暴動、テロ、事故、疾病、犯罪などによる損害について、金沢大学は一切の責任をおいません。 また、参加者の故意、過失、法令違反または公序良俗に反する行為によって、留学機関又は第三者に対して損害等を与えた場合は、金沢大学は一切の責任をおいません。 応募者の在籍大学が指定する海外旅行保険・危機管理サービスの加入が必須です。 プログラム参加には心身ともに健康状態が良好であることが前提です。 現在治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。 原則、申込後の参加取消しはできません。参加を取り消す場合は、その理由に関わらず、以下の通り参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。申込確定後に正式なキャンセルポリシーをお伝えします。 感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス等）の罹患により渡航できなくなった場合や、渡航中に罹患した場合の隔離等に伴い発生する費用は、自己負担となります。 各国の治安、疫病、災害等の状況によっては、派遣先機関と協議のうえ金沢大学の判断により、直前での派遣中止、もしくは渡航後の途中帰国を指示する場合があります。※キャンセル料は自己負担となります。 外国籍学生は、自身の国籍によっては査証が必要になる場合があり、査証取得手続き等の費用は、自己負担となります。 また、出発までに査証が取得できない場合に発生する参加費のキャンセル料は、自己負担になります。 		
プログラムの詳細	各プログラムによる		
問合せ先	<p>プログラム内容について：ママードウア アイーダ（金沢大学国際日本研究教育センター 准教授）</p> <p>Eメール：mammadova@staff.kanazawa-u.ac.jp</p> <p>周知担当・申込先：金沢大学国際部留学企画課留学推進担当 藤原</p> <p>Eメール：studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp</p>		